

皇族や上流貴族しか着用できなかつた組み帶や平緒

古き時代より高貴な装飾品として取り扱われてきた「組み」。

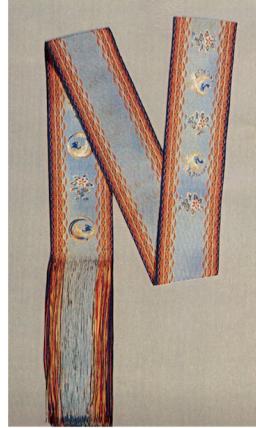
現在でも、祭事・神事に用いられ、また天皇の即位式にも着用されている。

その他には、刀剣の下緒・王冠の装飾品・寺社等の幡・經典や巻物を保管する組紐などに用いられています。

＜「聖徳太子画像」に見られる組み帶



＜伊勢神宮御神宝 皇大神宮御料 縹地唐組平緒



＜正倉院宝物に見られる組み帶



＜金銅装唐組垂飾

